

# 単元名 「Let's see the world.～山梨県のおすすめを紹介しよう～」(第6学年 話すこと【発表】)

## ■本事例のポイント

- 1.オンライン会議ツールを用いてALTの家族とその場でやり取りをすることで、相手意識をもって伝えられるようにした。
- 2.個別の時間に加えて、自分の考えを友達に伝えてアドバイスをもらう協働的な時間を設けることで、自分の考えを再構築し、深い学びへつなげるようにした。

## ■単元の目標

日本に来たことのないALTの妹が山梨県での滞在を楽しめるように、「山梨県のおすすめ」を紹介しよう。

## ■単元の指導計画(8時間)

### 第1時～第3時

「単元の目的・場面・状況を知る」

- ・ALTの「マレーシアのおすすめ」を聞き、言語材料を知る。
- ・ALTの妹が山梨へ遊びに来ることを知る。

### 第4時～第6時

「紹介したい日本のおすすめを考える」

- ・オンライン会議ツールでALTの妹との会話を通して、言語材料の活用法を知る。
- ・その場でのやり取りを通して、ALTの妹の興味・関心を知る。

### 第7時～第8時

「山梨県のおすすめを紹介する」

- ・ALTの妹とオンライン会議ツールでつなぎ、「山梨県のおすすめ」を伝える。

## ■本時の概要

- ①マレーシアとリアルタイム配信でつないで、その場で話してみよう！ Part 1  
ALTの妹の自己紹介を聞いて、もっと知りたいことをグループで考える。



既習の質問する表現を用いて、「深める質問」「話題を変える質問」などを意識しながら分かったことをマッピングします。



- ②「日本のおすすめ」を伝えよう！

日本のおすすめについて自分が紹介したいことを考える。→個人  
考えたことを友達に伝えて、お互いに助言をし合う。→ペア



- ③マレーシアとリアルタイム配信でつないで、その場で話してみよう！ Part 2  
自分の考えた「日本のおすすめ」について、その場で伝える。

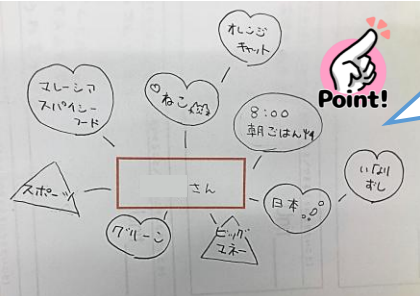


マッピングを基に、相手を意識した紹介内容で伝えます。



## ■ 学習調整をしている子供の姿

## ■ 指導と評価の工夫



### ① マッピングについて

- \* 相手について知り得た情報をマッピングすることで、視覚的に分かるように整理した。
- \* 児童は、「日本のおすすめ」を紹介するために、マッピングを頼りに、相手の好きなものなどの情報を参照しながら、自分の考えをもつことができた。



英語の意味を意識した図形を使うことで、相手の特徴を視覚的に表現できる。



### ② Small Talk・Challenge Time

- \* オンライン会議ツールを活用することで、初対面の英語話者と話すという貴重な経験をすることができた。
- \* 初対面であるがゆえに、多くの質問をする必然性が生まれて、児童は主体的に質問したいことを考えることができた。
- \* その場でのやり取りを通して、言語材料を意欲的に学ぶことができた。

### ③ My Time・Pair Time

- \* 自分の考えを動画に残しておくことによって、児童一人ひとりの発表内容を丁寧に見返しながら、評価をすることができた。
- \* 自分の動画を見返すことで、児童自身が自分の発表内容と向き合い、学習調整することができた。

## ■ 成果（○）と課題（▲）

- オンライン会議ツールを活用して実際にやり取りをすることで、児童の英語での発話に対する意欲はとて高くなった。
- 現在学習している表現を自分が実際に初対面の人に使うという経験が、日々の授業の意欲につながった。
- なかなか自分の考えが伝えられない児童も「友達の英語が伝わっていること」を実感し、日々の外国語の学習の積み重ねやその重要性について気付くことができた。
- ▲ Pair Timeの際に、自分の考えをしっかりと伝え合いながら言語活動ができているペアがいた一方で、うまくいかず発話量において不十分な児童がいた。既習表現等を活用できるように、授業全体を通じて使用場面をつくっていきたい。
- ▲ 質問ただけで会話が終わってしまう児童が多かったので、質問後に自分のことを話すなど、追加情報を伝えられるようにしていきたい。